

Seirei

青麗

11
月号



青麗ホームページ
にアクセスしまし
う！最新情報が掲載
されています。

contents
2024 NOV

11月号 隔月発行 第1巻第6号

表II 高田正子の初学物語 6

3 句集特集

—今年編まれた青麗会員の4冊を読む—

『くりうむ』『山あげの街』『竜宮の使ひ』『紅榴』

●主宰作品

20 冬へ

22 青麗集 高田正子選

41 選評と鑑賞……高田正子

45 「青麗」創刊2年目を迎えるにあたって……高田正子

46 青麗俳句会メンバーによる

句会のお知らせ

雨の縄文遺跡……文・あをい盛岡 村井好子

●俳句の現場レポート

50 「山あげ祭」訪問記……取材・文 沖山充弘

●連載 俳句百名山

52 第6回 岩手山……ジョニー平塚

●連載 「水草の発句を読む」

54 第4回 しぐれ……深沢眞二

●連載 季語と外来植物

56 第6回 泡立草……北川谷戸乃

●連載 海の物語（最終回）

58 ⑥ 出会い……平尾潮音

●連載 お菓子な俳句

61 第6回 七五三……さとうかしこ

結社「青麗」立ち上げ記⑥（最終回）

63 逢いに行きます……高田正子

〈お知らせのページ〉

2 「青麗俳句会」年間スケジュール

62 お知らせ

64 青麗俳句会入会案内

表III 編集後記

表紙・本文デザイン 土屋みづほ

【お詫び】9月号で予告していた「超入門！歴史的仮名遣ひ」は1月号以降に掲載いたします。

無断転載禁止

冬へ

高田正子

数珠玉の豊作といふ濃紫
稲の穂のざらんばらんと雨のあと
刈りたての草の匂ひを稲の束
挨拶に金木犀のこと今朝も

魚より魚の影のひややかに
灯籠に火を奉る無月かな
風音を濤の音とも十三夜
指先に十一月の冷え到る
丹精の百草咲かせ冬に入る
散りもせず冬の柳となりけり